

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	医療秘書技能検定Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年・2年		学期及び曜時限	後期 前期	教室名	406/405
担 当 教 員	加藤 智久 松村 知世	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として病院に勤務経験あり 医師事務作業補助者として病院に勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》 これまでの講義で学んできた「人体の構造と機能(解剖生理)」および「疾患名と特徴」について、検定問題集を踏まえながら学生自身が領域ごとに深くまとめ直します。 本カリキュラムの後半では、学生が講師となって他の学生へ講義を行う形式を取り入れ、暗記に留まらない確実な理解と応用力を身に付けます。						
《成績評価の方法と基準》 1、定期試験または実技試験：50% 2、平常点(担当講義の準備・発表・授業態度)：50% ※学生による講義(発表)の評価を平常点に大きく反映させます。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 新医療秘書医学シリーズ「基礎医学」(教科書) 医療秘書技能検定実問題集 3級 配布資料						
《授業外における学習方法》 事前学習：自分が担当する、あるいは次回発表される領域の教科書・問題集を事前に読み込んでおくこと。 事後学習：授業内および学生講義で扱った過去問題を何度も解き、解説をよく読んで暗記・理解に努めること。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習 形式	授業を通じての到達目標	【ガイダンス & グループ分け・担当決定】 授業の目的を理解し、自分の担当領域のまとめ計画を立てられる。	教科書 配布資料	教科書の指定部分(自分の担当領域)を事前に読み、これまでのノートを見返しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	学生講義(発表)の評価基準の説明 担当する医学領域(細胞・血液、各器官系など)の決定			
第2回	講義 演習 形式	授業を通じての到達目標	【範囲のまとめ実践①:解剖生理の整理】 担当する器官系の解剖生理について、要点を分かりやすく整理できる。	教科書 配布資料	授業内でまとめきれなかった解剖生理の図表や解説の続きを自宅で作成すること。	
		各コマにおける授業予定	担当領域の「構造と機能(解剖生理)」の要点まとめ			
第3回	講義 演習 形式	授業を通じての到達目標	【範囲のまとめ実践②:疾患と特徴の整理】 担当する領域の代表的な疾患について、特徴を正しく整理できる。	教科書 配布資料	疾患に関するまとめの続きを自宅でを行い、発表用資料(レジュメ等)の作成を進めること。	
		各コマにおける授業予定	担当領域の「主な疾患名、原因、症状」の要点まとめ			
第4回	講義 演習 形式	授業を通じての到達目標	【範囲のまとめ実践③:過去問の分析】 過去問の出題傾向を把握し、誤りやすいポイントの解説を作成できる。	教科書 配布資料	選定した過去問の「解説資料」を自宅で作成し、講義(発表)のトータルリハーサルをしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定の過去問から、担当領域の問題を抽出・分析 講義時にみんなに解いてもらう「重要過去問」の選定			
第5回	講義	授業を通じての到達目標	【講義資料の最終見直し & 発表シミュレーション】 他者に伝えるための適切な講義構成・資料を完成させることができる。	教科書	修正指示のあった箇所を再確認し、発表会への準備を進める。	

第5回	演習形式	各コマにおける授業予定	配布する講義資料の誤字脱字の見直し・修正 教員への最終プレゼン、またはグループ内での模擬講義	教科書 配布資料	を直し、グループ毎分の資料印刷の準備を整えること。
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	【総復習・模擬問題実践】 これまで学んだ基礎医学を応用し、検定問題に対応できる基礎力を再確認する。	教科書 配布資料	次回の学生講義(前半グループ)の範囲について、教科書や問題集を事前に読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	学生講義(第7回・第8回)に向け、教員側から全体に繋がる重要基盤知識の総括解説と、複合問題の演習		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	【学生による学生のための講義:前半戦】 【発表者】教員に頼らず自立して講義を行い、【聴講者】仲間の講義から学びを深める。	教科書 配布資料	【発表者】講義の振り返りと反省点をまとめる。 【聴講者】本日扱った過去問題を自宅で解き直して復習する。
		各コマにおける授業予定	学生講師による講義実践(解剖生理・疾患の解説、過去問演習の実施と解説作り)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	【学生による学生のための講義:後半戦 & 総括】 全範囲の医学知識を統合し、医療秘書技能検定合格への自信をつける。	教科書 配布資料	これまでの学生講義の資料と問題集をすべて見直し、検定本番に向けた総復習を行うこと。
		各コマにおける授業予定	学生講師による講義実践(後半グループ) 全8コマの総括、教員からの講評とフィードバック		